

進化を続ける抗体医薬

抄録:

1990年代後半から抗体医薬の研究開発が盛んに行われ、抗体工学技術の進歩によって、抗体は医薬品の一つのカテゴリーとして確立された。その結果、現在では有望な標的分子に対しては熾烈な開発競争が展開されている。このような状況下で、価値の高い抗体医薬品を創出して医療の発展に貢献するためには、独自の抗体創製技術を継続的に開発する必要がある。この講演では、最近の技術開発のトピックスとして、抗原と抗体の体内動態制御技術、バイスペシフィック抗体創製技術、Fc受容体との結合制御技術について、演者らの実績を紹介する。

日時

平成26年7月16日(水) 13:30~14:30

会場

東北大学 医学部 1号館 2階 第1セミナー室

講師

服部有宏 氏

(中外製薬株式会社 研究本部 探索研究部長)

バイオ創薬分野の第一人者で、G-CSFや抗体創薬に取り組み、現在は次世代抗体の開発研究をリードされている服部氏の講演を聴講できる機会です。皆様のお越しをお待ちしております。



【主催】創薬等支援技術基盤プラットフォーム事業・東北大学制御拠点
【共催】創生応用医学研究センター 創薬・探索臨床研究コアセンター

◆問合せ先

創薬等支援技術基盤プラットフォーム事業・東北大学制御拠点 事務局

TEL: 022-717-7809 FAX: 022-717-8083

mail: pford@med.tohoku.ac.jp

URL: <http://www.pford.med.tohoku.ac.jp/>